

平成31年度

評議員連絡会議議事録

公益財団法人東京都中小企業振興公社

平成 31 年度評議員連絡会議議事録

1 開催日時 平成 31 年 4 月 23 日(火) 午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分

2 場所 公益財団法人 東京都中小企業振興公社
東京都千代田区神田佐久間町 1 - 9
産業労働局秋葉原庁舎 1 階 大会議室

3 評議員の現在数 11 名

4 出席評議員の数及び氏名 8 名 井上 裕之
大村 功作
桑島 俊彦
舟久保利明
松枝 憲司
大塚 敬章
阿部 学
坂本 雅彦

5 出席理事の数及び氏名 3 名 福田 良行
土村 武史
保坂 政彦

6 議事録作成に係る職務を行った者 福田 良行

7 議事次第

(1) 報告事項

報告事項 1 平成 31 年度事業計画及び収支予算について

報告事項 2 公社事業の運営状況等について

8 会議の概要

(1) 開 会

議事に先立ち、進行役を務める植野総務課長より、今回初めてご出席される評議員の紹介を行い、各評議員より一言ご挨拶を頂いた。

(2) 議案の報告

① 報告事項 1 平成 31 年度 事業計画及び収支予算について

配布資料に基づき、宮武事務局長が報告事項 1 について説明を行った。

② 報告事項 2 公社事業の運営状況等について

配布資料に基づき、宮武事務局長が報告事項 2 について説明を行った。

その後、植野総務課長が報告事項 1 および 2 について質問並びに意見を求めたところ、下記の意見及び質疑応答があった。

<評議員>

収支報告書を見ると、「創業支援施設運営事業家賃等収益」が減額となっているが、インキュベーション施設は廃止するということか。事業終了の意図をお聞かせいただきたい。

<公社>

これまでは、墨田及び神田等にインキュベーション施設を設けていたが、そちらの事業は終了した。現在は、多摩地域に新たに創業ステーションを立ち上げることを予定している。民間のインキュベーション施設もかなり増えているため、さまざまな施設と連携を図りながら創業支援にさらに力を入れたいと考えている。

<評議員>

若者・女性の創業支援について、東京都チャレンジショップ「創の実」についてお聞きしたい。自由が丘のショップは、最初に入居した3件のうち1件が独立して三軒茶屋の商店街の中に入り、商店街の会員になったと聞いている。その他の2件の状況はどのようになっているか。

また、吉祥寺のショップについては、まだ開設して半年程度ではあるが、充実した内容であるため小池知事にご覧いただいたら良いのではないかと先だって申し上げている。小池知事は、視察されたのか。

<公社>

まず、自由が丘の方からお答えする。自由が丘は、1件が三軒茶屋で開業した。残りの2件については、1件は、委託販売等の形で新しいビジネスモデルを探っている状況である。もう1件については、ネット販売等も含めて自身のビジネスのあり方を検討しているところである。

吉祥寺については、3件の店舗が入っているが、そのうち1件は6か月が経つ今年の5月・6月の段階で卒業を考えている。実際に店舗運営を試みたところ、店舗のみならず、ネット販売や卸販売等についても複合的に進めたい考えを持ったようで、現在は、新たな店舗を探しながら、自身のビジネスモデルを検討している状況である。残りの2件については、継続してもうしばらくチャレンジショップでの店舗の検討を進めたいという意向である。小池知事には、残念ながらまだお越し頂けておりません。

<評議員>

チャレンジショップには、インドシルクやインド更紗を加工して出している店や、新宿の伊勢丹でも目にするバラなどのフラワーボックスを売っている店もある。このような特徴のある店が入居しているというのはこれまでない取組であると感じている。ただ、今後は商店街の中の店も、ネット販売も取り入れた物品販売をしていかないと、時代への対応が難しいだろう。今後は、事例を確立し、発表していくことをお願いしたい。

以上をもって、議案の報告を終了した。

平成31年 4月23日

理 事 長 福 田 良 行 印